

外国語コミュニケーション・英語

1. 授業の目的

外国語コミュニケーション（英語）では、学習者が在学中および卒業後の将来にわたって関わる専門分野で実際に使える英語能力を身につけることを目的とする。

2. 到達目標（1年次）

- ①将来の専門分野に関連する基礎語彙を習得し、それを使って簡単な質問や説明が出来る
- ②将来の専門に関連する一般的な英文を理解し、まとめ、自分の言葉で説明できる
- ③基本的な英文の構造を理解し、一般的な事柄について平易な英文を書くことが出来る
- ④将来の専門に関連する事柄について、積極的にコミュニケーションを図ることが出来る

3. 授業内容・方法

1年次では専門への橋渡しや動機付けとなる発信型の授業を展開する（必修課目）。教材は、専門への興味を喚起する内容のものを使用する。理系の学部であれば、英米の高等学校で使われている理科の教科書や、一般的な科学読み物記事、あるいは理系の内容の英語テキスト教材等、文系であれば、時事や社会現象についての一般的な解説記事、あるいは文系の内容の英語テキスト教材等を使用する。授業は講義に加え、学習者が言語活動へ積極的に参加できるような工夫を取り入れる。

英語については1年次前期、後期にそれぞれ2コマずつ開講する。各学期の1コマ（前期：英語 a1、後期：英語 a2）は主として Reading と Writing（文法、語彙学習も含む）の内容とし、もう1コマ（前期：英語 b1、後期：英語 b2）は Listening と Speaking（文法、語彙学習も含む）の内容とする。後期については、前期の内容からやや発展的なものとする。Speaking の授業においては、できるだけ実践的な会話・発表経験を積ませ、発信についての抵抗感をなくしていくよう指導する。

なお2年次以降は各学部のニーズに応じた ESP（English for Specific Purposes：特定目的のための英語教育）を実施する（選択科目）ので、初年次からの継続性に配慮する。ESP の教材は、実際の専門で使用する内容に近い言語材料(authentic material)となる。

4. 成績評価方法

学期を通して口頭・筆記等の各種形式を用いながら、到達目標をバランスよく評価する。